

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 04030131

政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	24	効果的・効率的な行政経営	事業優先度	B		
単位施策	1	計画行政の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	防犯灯LED化整備事業		見直し年度	平成25年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	4 住民生活課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	防犯灯LED化整備事業		関係課	#N/A		
事業目標	防犯灯LED化整備 361本		ハード/ソフト 事業区分	1	ハード事業	
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働	無		関係個別計画名	無		

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	防犯灯LED化整備(361本) 各自治会の防犯灯はすべて水銀灯となっており、LED照明に取り替えることにより、電気料金の削減や、防犯灯の長寿命化が図られる。 また、これに伴い、各自治会に交付している自治会運営費補助金の大幅な削減が図られる。	防犯灯LED化整備工事 沢木地区、栄丘地区、共栄地区 雄武市街地区、魚田地区 幌内地区 合計65本	防犯灯LED化整備工事 沢木地区、栄丘地区、共栄地区 雄武市街地区、魚田地区 幌内地区 合計65本	防犯灯LED化整備工事 沢木地区、栄丘地区、共栄地区 雄武市街地区、魚田地区 幌内地区 合計65本 沢木地区、栄丘地区、共栄地区 雄武市街地区、魚田地区 幌内地区 合計64本 ※補正繰越(H28実施)6,000千円	防犯灯LED化整備事業 ※H29年度へ繰越 沢木地区、栄丘地区、開生地区 雄武市街地区、曙地区(一部) 合計62本	防犯灯LED化整備事業 栄丘地区、雄武市街地区、 魚田地区、幌内地区 合計31本	
	事業費(千円)	35,529	6,000	6,000	12,000	6,000	5,529
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	35,529	6,000	6,000	12,000	6,000	5,529	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	34,605	0	11,751	5,746	5,854	11,254
	財源内訳						
	国庫支出金	5,500		5,500			
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	29,105	0	6,251	5,746	5,854	11,254	
特定財源の名称	北海道総合交付金	(実施内容等)	(実施内容等) ・防犯灯LED化整備工事(H25繰越) ・灯具取替67基 ・防犯灯LED化整備工事 ・灯具取替67基	(実施内容等) ・防犯灯LED化整備工事(H26繰越) ・灯具取替67基	(実施内容等) ・防犯灯LED化整備工事(H27繰越) ・灯具取替68基	(実施内容等) ・防犯灯LED化整備工事(H28繰越) 灯具取替61基 5,789千円 ・防犯灯LED化整備工事 灯具取替31基 5,465千円	
【評価・実績】		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/終了	
前期計画からの継続	年度目標値	防犯灯LED化整備 65本	防犯灯LED化整備 65本	防犯灯LED化整備 65本	防犯灯LED化整備 62本	防犯灯LED化整備 93本	
第6期計画への継続	年度達成率	0%	196%	48%	98%	204%	
	全体達成率	0%	33%	49%	66%	97%	
	備考欄						

事業名	防犯灯LED化整備事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	安井 雅憲
		評価者 作成者 職氏名	住民活動係	小俣 博和

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民及び自治会(防犯灯設置自治会のみ)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	防犯灯LED化整備数
【抱える課題やニーズは】	現在、防犯灯に水銀灯を使用していることから、水銀の人体及び環境への影響が懸念されるほか、経年劣化による安定器の故障などから、水銀灯の交換回数が増加し、維持管理している自治会への財政的な負担が大きい。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	防犯灯の水銀灯をLED照明に取り替える。	① LED化整備数	目標年度 平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	防犯灯の安全性を確保するとともに自治会の財政的な負担軽減		目標値 93基
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	防犯灯LED化整備工事(H28繰越)	水銀灯からLED照明に取替え工事を実施した。 沢木:4基 新日の出町:9基 日の出北町:1基 旭町:1基 日の出仲町:6基 宮下町:1基 末広町二区:2基 潮見町:8基 曙:17基 魚田:12基 計 61基	実績値 92基
			達成度 98.9%
	防犯灯LED化整備工事	水銀灯からLED照明に取替え工事を実施した。 栄丘:1基 末広町二区:3基 新町:9基 魚田:8基 幌内:10基 計 31基	目標年度 平成29年度
			目標値 〇〇
		実績値 〇〇	
		達成度 #DIV/0!%	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	防犯灯は、犯罪を未然に防ぐため、夜間不特定多数の人が通行する生活道路で、暗くて通行に支障がある場所や防犯上不安のある場所に設置されるものであり、その安定的な稼働に関しては町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	LED照明によって、防犯灯の安全性は確保されているほか、水銀灯と比べ、照度が高いことから、防犯灯としての性能向上にも繋がっている。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	LED照明に取り替えることよって、電気料金が減額となり、町から各自治会に電気料金分を交付している自治会運営補助事業費の抑制が図られることから、効率的と判断される。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	防犯灯は、全町において防犯対策の必要性が高い箇所に設置されており、整備計画に沿って順次LED化を行っていることから公平性は保たれている。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画的なLED化の推進により自治会の財政的な負担軽減と防犯対策の向上が図られている。		
今後の展開方向 (Action)	↓	↓
終了		
防犯灯のLED化については、今年度をもって全て終了した。今後、修繕等が発生した場合は、各自治会において修繕を行い、その修繕費を自治会運営補助事業によって、補助する。		

※展開方向の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止